

第4回 各務原市新庁舎の機能を考える市民ワークショップ 議事要旨

日 時：2015年9月5日（土）午後1時～3時00分

場 所：産業文化センター2階第3会議室

出席者：17名

各務原市：鷺主企画総務部長、加藤管財課長、管財課：永井主幹、小林（広）、
小林（伸）、領木、大丸

パシフィックコンサルタンツ株式会社：小野崎、酒本、近藤、吉永

（1）次第

開会

1. 前回のふりかえり
2. 事例紹介
3. 意見交換
4. 発表

閉会

（2）参加者：班構成（五十音順）

1班（6名） ※手話通訳者2名	2班（5名）	3班（6名）
小川 清	安達 則行	足立 日出男
高島 邦枝	北川 静児	柴山 拓治
野中 好子	末松 誠榮	玉置 実三郎
花田 澄子	永井 紀美子	新田 紀子
山本 吉雄	水野 岳男	馬場 忠久
横山 節男		山本 光枝

（3）意見のまとめ

1班

【市民が誇れる、訪れたくなる庁舎】

- ガラス張りで明るく、開放感のある庁舎
 - ・ 外観は超近代的な庁舎。全体的にガラス張り、明るく開かれたイメージが必要
- 飛行機が見える、各務原らしい庁舎
 - ・ 屋上から基地が見える展望台
 - ・ 屋上に飛行機のある庁舎
 - ・ 屋上に展望台がほしい
 - ・ 防音をしっかりと！
- 自然光を取り入れた明るい庁舎

- ・ 東西に長い建物にして、自然採光や風通しを良くする
- ・ 屋上の緑化
- ・ 昼休みも明るくなるような工夫を！
- 常時広いスペースは取らず、展示コーナーを設ける
 - ・ 常時広いスペースを取っておくのはもったいない
 - ・ 気軽に展示できるスペースがあるとよい
 - ・ 市民も使いたくなるような食堂（明るい、おいしい）
- 市の情報スペース
 - ・ 飛行機が見えるガラス張りのスペース、各務原 PR スペースで情報発信
 - ・ ロビーのところに市の情報発信コーナーがあるとよい
 - ・ カフェのそばに市の情報スペースがあると連携ができてよい
- 各務原の特産品を使う
 - ・ カフェで市の特産を使ったものを提供する
 - ・ 人参ジュースがいつでも飲めるようなコーナーが面白いと思う
 - ・ カフェでモーニングがあるとよい
- 議会と市民が近い議場
 - ・ 議場は、イギリスの議場のような議員と市長側が左右対称とする
 - ・ 傍聴席は、周りを囲むようなイメージで、議場の白熱した議論を身近に感じるようにする
- 非常時に障がいのある人でも分かるようなお知らせ機能
 - ・ ロビーなどに非常時にお知らせしてくれる、ライト等見て分かる装置がほしい
 - ・ 非常口を分かりやすくする
 - ・ 電光掲示板
 - ・ 何かあった時に市役所も対応できるような仕組みがあるとよい

【安心して安全に利用できる庁舎】

- 誰もが使いやすいトイレ
 - ・ 多目的トイレは各フロアには必ずほしい
 - ・ バリアフリー対応にする
 - ・ 男子トイレに鞆等の荷物をかけるところがほしい
 - ・ 小便器脇にも傘掛け（フック）が必要
 - ・ 鞆掛けの位置や書類などを置く棚の位置
 - ・ 便器の色も白一色でなく、カラフルに
 - ・ フロアごとに色分けされたトイレ
 - ・ 和式トイレの必要性を考慮
 - ・ 簡単な荷物置きスペースは必要
 - ・ 全てにではなくてよいので、子どもを置ける場所があるトイレも必要
 - ・ 広いスペース（ベビーカーとかでそのまま入れる）
 - ・ 化粧スペース付き
 - ・ 和・洋・赤ちゃん、すべての人が使うための備品があるとよい
 - ・ トイレは換気扇で消臭してほしい
 - ・ トイレレットペーパーが薄いことが多い。少し厚みがあると使いやすい

- ユニバーサルデザインを取り入れたエレベーター・階段
 - ・ エレベーターは4基ほしい（左右2基ずつでもよい）
 - ・ エレベーターが次のどのエレベーターが来るのかわかるようにしてほしい（上か下かわかるように）
 - ・ エレベーターは、災害時、緊急時等を考えて、見える化をした方がよい
 - ・ エレベーター内に手すりがあるとよい
 - ・ エレベーターのボタンは手の届きやすい位置にする
 - ・ エレベーターは分かりやすい場所に設置する
 - ・ 勾配が緩やかな階段
 - ・ 階段の手すりは背に合わせて二段ほしい（二段手すりの導入）
 - ・ 階段のイメージは、明るく上りたくなるような階段に
 - ・ 小さな子どもでも上り下りしやすいように、緩やかな階段がよい
 - ・ 正面入り口に近いところに階段があるとよい
 - ・ 階段の段差は児童でも無理なく上り下りできるようにする
- 駐車場は常時全ての利用者が停められるスペースを確保
 - ・ 1Fに駐車場、2F以上が庁舎だとよい
 - ・ 利用者全て駐車できるスペースがほしい
 - ・ 屋根付きは、車椅子利用者、赤ちゃんを連れている方が利用できる台数
 - ・ 幅の広い駐車場（車椅子、子連れ、妊婦さん用等）
 - ・ 駐車場に入りやすい動線を考える
 - ・ 満車の時にも対応できる案内等
 - ・ 他の駐車場の状況が分かる案内表示があるとよい
 - ・ 普通自動車用、軽自動車用など、様々な車種用の専用ゾーンがあるとよい

2班

【市民が誇れる、訪れたいくなる庁舎】

- 誇れる庁舎
 - ・ 身の丈に合った庁舎
 - ・ 派手すぎず、白っぽくない壁面
 - ・ モダンすぎる必要はない→自然光を取り入れた明るい庁舎
 - ・ 出入りしやすい庁舎
 - ・ 近づきやすい庁舎
 - ・ 周辺の緑を多く
 - ・ 太陽光のパネルの設置
 - ・ 震災時、緊急時の避難場所としての拠点にはしない
 - ・ 免震構造
 - ・ 周辺に空地を持った、土地にゆとりのある庁舎
- 訪れたいくなる庁舎
 - ・ 1階にカフェ等があったら利用するかどうか検討する（利用客が苦しい自治体の例もある）
 - ・ 上の階に誰でも利用できる食堂を設ける

- ・ 自販機等を配置したカフェスペース
 - ・ 最上階等にレストラン、展示等を併せたスペース
 - ・ 展示はあってもいいが、大がかりにする必要はない（ギャラリーまでではない）
 - ・ ロビーコンサートができるようなスペースはあった方がよい
 - ・ 屋上緑化は維持管理費がかさむから、あまり考えなくてもよいのではないか
- 市民に開かれた庁舎
- ・ 市民の方が利用できるような（空間を貸せる）開かれた役所
 - ・ 対面式を横から見られる様な議場
 - ・ 市民の方が入りやすい雰囲気議場
 - ・ 議場は平面的におさまるようにする

【安心して安全に利用できる庁舎】

●バリアフリー対応のトイレ

- ・ バリアフリーに対応したトイレ
- ・ 1階のトイレは入口の近くがよい
- ・ 多機能トイレ（シャワー付き、洋式が多め、オストメイトつき）
- ・ 1階、2階には多機能トイレは必要
- ・ 1階、2階の多機能トイレは、目が見えない、耳が聞こえない人にも分かるサインが必要
- ・ トイレの配置は中心だけに集中しないように配置する
- ・ 車椅子の方にとって、鍵が掛けやすいタイプを導入

●利用しやすいエレベーター、階段

- ・ 階段、エレベーターは広くする
- ・ 音声センサー付きのエレベーターを設置
- ・ 両側に2段手すり（市民利用の少ない上の階には1段だけでも良い）
- ・ 職員から見えるエレベーター
- ・ シースルーのエレベーター（安全面、管理面）
- ・ 勾配の緩やかな階段
- ・ 自然光を多く取り入れた階段
- ・ すだれのようなものや鈴を付けて（体に触れて分かる）、視覚障がい者の方が角に達したことが分かる工夫

●駐車場

- ・ 出来れば地下駐車場がよい
- ・ 誰でも駐車場（車椅子利用者、妊婦さん利用）
- ・ 駐車場の許容量を多く、1台のスペースを広くする
- ・ 障がい者用駐車スペースは屋根付きで広くする
- ・ 歩行者用通路に屋根をつくる（駐車場内）
- ・ カード式の現況の方式（駐車場の出入り管理）→時間による運用変更等可能であれば、機械式のほうが、利便性が高い
- ・ ゲート式にしても駐車場の管理運用については検討し直した方がよい。通りから出入りしやすい駐車場レイアウト
- ・ 可能であればイベントのできるスペースを持った駐車場がよい

- ・ 駐車場で盆踊りとかやっている場所もある
- ・ 休日に利用できるようなにするのはよい
- ・ 土日にピアガーデン・屋台村等の利用が出来る

3班

【市民が誇れる、訪れたいくなる庁舎】

- 公共機能が集約されている庁舎
 - ・ 公共機能が集約されているとよい
 - ・ なるべく施設を集約
- 機能重視（使いやすさが大事）
 - ・ まずは機能重視（使いやすさ）
 - ・ 社協なども集まっていると便利
 - ・ 日常の証明書等はコミセンで済む
- どこかに各務原らしさを！
 - ・ 市の売り、イメージが分かるものがあった方がよい
 - ・ 有名建築家に頼る必要はない
- 訪れたいくなる庁舎：カフェや交流スペース
 - ・ お茶は1Fに（寄りやすい場所に）
 - ・ レストラン・カフェがあるとよい
 - ・ 余裕のあるスペースを確保する
 - ・ 交流の場を設ける
 - ・ 高齢者や子どもが交流できるようなスペースや企画
 - ・ 子どもや若い女性を大事にする

【安心して安全に利用できる庁舎】

- 安心して利用できるトイレ
 - ・ 分かりやすく、明るくする
 - ・ トイレの場所は各階の同じ場所にし、一度行ったら各階で理解できるようにする
 - ・ 真ん中に配置するのが良いとは限らない
 - ・ へたに高機能でない方が良い（壊れやすい、使いにくい）
- エレベーター、エスカレーター
 - ・ エスカレーターを真ん中に配置し、わかりやすくする
 - ・ 2Fまではエスカレーター設置もよいのではないか
 - ・ 真ん中にエレベーター、エスカレーター、階段を配置
 - ・ エスカレーターの幅は狭くてもよい（1人分でよい）
- 階段の手すりの充実・勾配は緩く（2Fまででよい）
 - ・ 2段の手すり
 - ・ 普段はほのかな明かりでも、人感センサーで照明調節をする工夫
 - ・ 市民がよく使うところは緩く、広く
 - ・ 階段の勾配は緩くする
- 駐車場
 - ・ 立体駐車場も必要（雨、日照り、子連れなど）

- ・ 立体駐車場は怖い感じもする
- ・ 平場も確保する
- ・ 遠いよりは近くに配置して、立体にして庁舎とくっつける
- ・ 平場と立体の混合の駐車場
- ・ 将来、多目的利用も出来るように（ドライバーの減少を見込む）

【その他】

- 災害時市民が避難できる場所に
 - ・ 避難場所にもできるようにする
 - ・ 岐南町の新庁舎はベンチが充実している
- 防音
 - ・ 防音は大事だが、コストが気になる
- 太陽光発電を庁舎で活用
 - ・ 太陽光発電を取り入れる
 - ・ 屋上緑化は土日の管理が大変である

以上